

GPC-5300

CameraLink 画像入力インタフェースモジュール用 Windows ドライバ



概要

GPC-5300 は、Windows 上のアプリケーションから、弊社 CameraLink 画像入力製品を制御する為のソフトウェアです。弊社 CameraLink 画像入力製品を Windows 上のアプリケーションから DLL をダイナミックリンクし、API をコールすることにより制御します。

特長

●カメラからの画像入力

- ・各カメラの仕様に合わせたカメラコンフィグファイルを提供しています。
- ・カメラの倍速モードでキャプチャすることができます。

●キャプチャ機能

- ・ユーザバッファ領域へ画像データを DMA 転送により直接転送することができます。
- ・I/O モジュールに搭載しているオンボードメモリへ画像データを転送することができます。
- ・1 フレーム内の任意領域だけをキャプチャすることができます。
- ・1 フレームの水平方向幅と垂直方向幅を任意に変更してキャプチャすることができます。
- ・RGB24 ビット用のカメラで、画像データを RGB32 ビット、RGB16 ビット、RGB15 ビット、R8 ビット、G8 ビット、B8 ビットに変換してキャプチャすることができます。
- ・モノクロ 8 ビット以上のカメラで、指定した 8 ビット幅を取り出してキャプチャすることができます。
- ・キャプチャが完了したフレーム数を知ることができ、1 フレームキャプチャごとに割り込みイベントを出すことができます。
- ・カメラの画像をユーザ領域とオンボードメモリへ異なるフォーマットでキャプチャすることができます。

●カメラコントロール信号

- ・CC1～CC4 へカメラコントロール信号を出力することができますので、カメラの外部トリガシャッターモードで画像をキャプチャすることができます。
- ・デジタル入力と同期してカメラコントロール信号を出力することができます。
- ・一定周期でカメラコントロール信号を出力することができます。

●シリアル通信

- ・カメラとのシリアル通信によって、解像度変更等のカメラへの設定を行なうことができます。

●2 値画像処理

- ・リアルタイムで 2 値画像をキャプチャすることができます。
- ・2 値画像処理による面積値、重心値の計算を行なうことができます。キャプチャを実行せずに、バックグラウンドで処理結果を取得することができます。
- ・面積値が指定した範囲内(または外)になった場合、トリガを発生させることができます。
- ・重心値が指定した範囲内(または外)になった場合、トリガを発生させることができます。
- ・トリガによる割り込みイベントを発生させることができます。

●デジタルカウンタ

- ・デジタルカウンタを搭載しており、インターバルタイマ、I/O モジュールが入力したフレームのカウントとして活用することができます。
- ・デジタルカウンタの周期ごとにトリガを発生させることができます。

●その他

- ・画面上で機能や使い方を説明する Help をサポートしていますので、開発中に関数の詳細説明等、簡単に参照することができます。
- ・カメラ画像を表示するキャプチャプログラムを用意しています。

対応 OS

Windows11 x64 Windows Server 2016 64bit Windows 10 IoT Enterprise x64 Windows 10 x64

対応言語

Microsoft Visual C++ 2015 Microsoft Visual C# 2015 Microsoft Visual Basic 2015
--

注意事項

—
